

# 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(成長型)

## <愛称 DC グローバル・ラップ・バランス(成長型)>

追加型投信／内外／資産複合

### 交付運用報告書

第15期(決算日2016年3月25日)

作成対象期間(2015年3月26日～2016年3月25日)

第15期末(2016年3月25日)	
基準価額	16,218円
純資産総額	2,131百万円
第15期	
騰落率	△ 5.1%
分配金(税込み)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「年金積立 グローバル・ラップ・バランス(成長型)」は、2016年3月25日に第15期の決算を行ないました。

当ファンドは、主に、世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

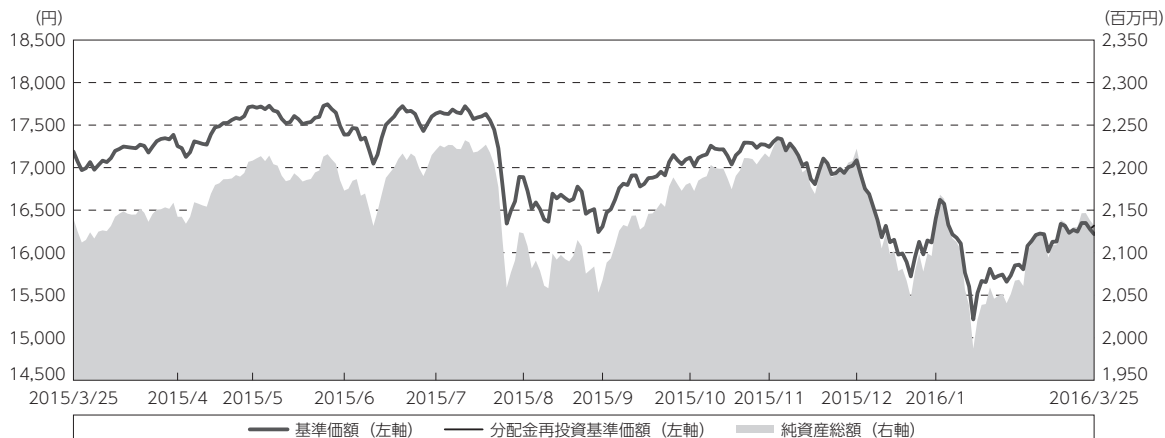
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2015年3月26日～2016年3月25日)



期 首：17,189円

期 末：16,218円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率：△ 5.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年3月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドを通じて世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。資産配分および運用アドバイザーの決定は、日興グローバルラップの助言をもとに日興アセットマネジメントが行なっています。

基準価額の騰落率(分配金込み)を各マザーファンドの騰落率に要因分解すると以下の通りです。

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	-2.12%
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	+0.15%
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	+1.94%
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	-2.27%
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	-1.48%
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	-0.84%
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	-0.45%
年金積立 グローバル・ラップ・バランス(成長型)	-5.07%

1万口当たりの費用明細

(2015年3月26日～2016年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	239	1.404	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(145)	(0.853)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 84)	(0.497)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 9)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.036	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 6)	(0.035)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	( 0)	(0.001)	
(リミテッドパートナー(出資金))	( 0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.014	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 2)	(0.014)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
(リミテッドパートナー(出資金))	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.022	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	その他は、外貨に係る税金
合 計	251	1.476	
期中の平均基準価額は、16,997円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

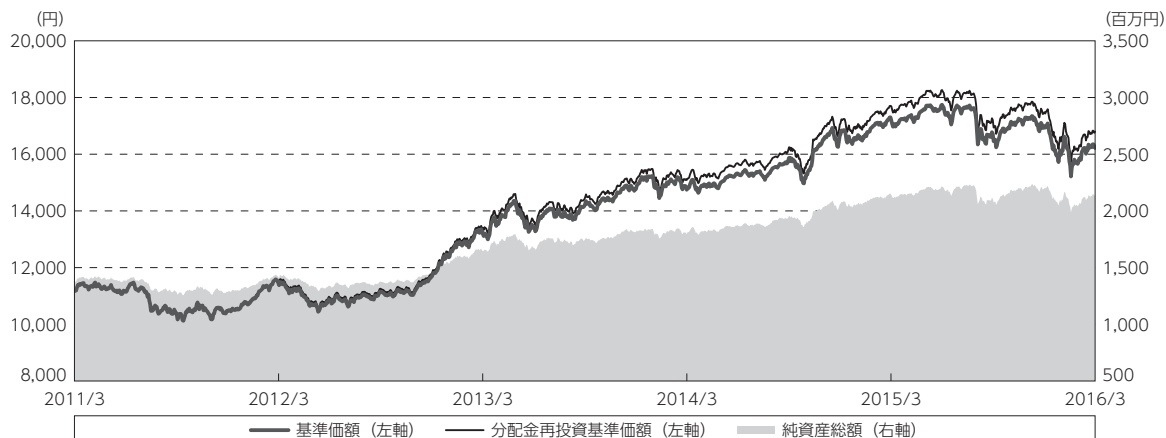
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年3月25日～2016年3月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2011年3月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2011年3月25日 決算日	2012年3月26日 決算日	2013年3月25日 決算日	2014年3月25日 決算日	2015年3月25日 決算日	2016年3月25日 決算日
基準価額 (円)	11,168	11,378	13,188	14,746	17,189	16,218
期間分配金合計(税込み) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.8	16.8	12.6	17.2	△ 5.1
純資産総額 (百万円)	1,363	1,407	1,644	1,794	2,140	2,131

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2015年3月26日～2016年3月25日)

(株式市況)

国内市場の株価は、期間の初めは、為替市場の円安・アメリカドル高傾向とそれに伴う国内企業の業績に対する期待から上昇基調となりました。2015年6月から7月にかけてギリシャ債務問題を睨んで株価は下落した後、一旦は値を戻しましたが、8月に入ると中国景気の減速懸念が強まったことで株価は急落しました。10月以降は、米国での早期利上げ観測の後退や11月の日本郵政グループ3社の新規上場などが好材料視されたことで、株価は回復傾向に転じました。しかし12月以降はECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和策に対する失望感や原油価格の下落に加えて、中国景気の先行き懸念や米国の利上げ観測などが再燃したことから、2016年2月中旬まで株価は大きく下落しました。その後、期間末にかけて株価は反発しました。

海外市場の株価は、良好な企業業績を好感し2015年5月にかけて堅調に推移しましたが、6月から7月はギリシャ債務問題などを背景に値動きの荒い展開となりました。さらに8月に入ると、中国の景気減速懸念の強まりなどを受け、株価は急落しました。10月に入り、ECBの追加金融緩和観測などにより株価は上昇に転じましたが、12月にはECBの追加金融緩和策に対する失望感や、原油価格の下落などを背景に、軟調な動きとなりました。その後、米国の利上げを受けて株価は上昇する局面もありましたが、2016年年明け以降、原油価格の下落に加えて、中国景気の先行き懸念や米国の利上げ観測などが再燃したことから、2月中旬まで株価は大きく下落しました。その後、期間末にかけて株価は反発しました。

(債券市況)

内外債券市場では、ギリシャ情勢を睨みつつ、期間の初めから2015年4月中旬にかけて債券価格は上昇しました。しかし6月にかけて、ユーロ圏におけるデフレ観測が一時的に後退したことで、債券価格は下落に転じました。その後は、米国の利上げ開始時期を巡る思惑から債券相場は不安定となる局面もありましたが、中国景気の先行き懸念やECBによる追加金融緩和期待、原油安などを背景に、2015年末にかけて債券価格は堅調となりました。2016年に入ると、中国の景気減速懸念の再燃や原油安、さらに米国の利上げ観測などの影響で世界的な株安局面の中、2月中旬にかけて債券価格は上昇しました。その後、期間末にかけて債券価格は緩やかに下落しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、以下の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

(2015年3月26日～2016年3月25日)

### (当ファンド)

各マザーファンドへの投資配分は、「日興グローバルラップ株式会社」による投資助言などを受け、以下の比率をめどに運用を行ないました。

毎月月初に各投資対象資産について定量評価を行ない、各投資対象資産の値動きや割安度、金融市場における投資家心理の変化などを総合的に考慮して、マザーファンドへの資産配分を勘案した結果、当期間中は5回の投資配分の変更を行ないました。2015年9月3日には、米国の利上げ開始時期を巡る懸念から株式資産への配分を引き下げ、債券資産の配分を引き上げました。また、10月14日には、米国の利上げや中国経済の減速に対する警戒感から、株式資産の配分を若干引き下げ、債券資産の配分を引き上げました。11月5日には、日本と欧州における追加金融緩和観測と中国政府による景気下支え策への期待を評価して株式資産の配分を引き上げ、債券資産の配分を引き下げました。また、2016年2月3日には、中国景気や原油価格に対する懸念などを理由に、株式資産の配分を引き下げ、債券資産の配分を引き上げました。さらに、3月3日には、中国景気の減速観測や原油価格の下落に加え、米国景気に対する警戒感や欧州の金融機関に対する信用不安などを評価して、株式資産の配分をさらに引き下げ、債券資産の配分をさらに引き上げました。当期の資産クラス別の資産配分効果は全般に不振となるなか、特に日本債券、欧州先進国株式、アジア太平洋先進国株式のマイナスが大きくなりました。

なお、当期間中は、各マザーファンドにおける運用アドバイザーの変更は行ないませんでした。

	日本大型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	日本小型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	日本債券 グローバル・ラップ マザーファンド	北米株式 グローバル・ラップ マザーファンド	欧州先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	アジア太平洋 先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	海外債券 グローバル・ラップ マザーファンド
期首 ~ 2015年9月2日	14.6%	6.7%	38.4%	15.3%	12.8%	3.7%	8.5%
2015年9月3日 ~ 2015年10月13日	15.1%	6.9%	39.6%	14.1%	11.8%	3.4%	9.1%
2015年10月14日 ~ 2015年11月4日	14.0%	7.0%	39.7%	16.6%	9.9%	3.1%	9.7%
2015年11月5日 ~ 2016年2月2日	15.1%	7.2%	38.5%	16.0%	10.7%	3.4%	9.1%
2016年2月3日 ~ 2016年3月2日	15.6%	7.4%	39.6%	14.8%	9.9%	3.1%	9.6%
2016年3月3日 ~ 期末	14.3%	7.2%	40.8%	15.4%	9.1%	2.9%	10.3%

## (各マザーファンド)

各マザーファンドにおいては、それぞれの運用アドバイザーが運用方針に沿って、信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

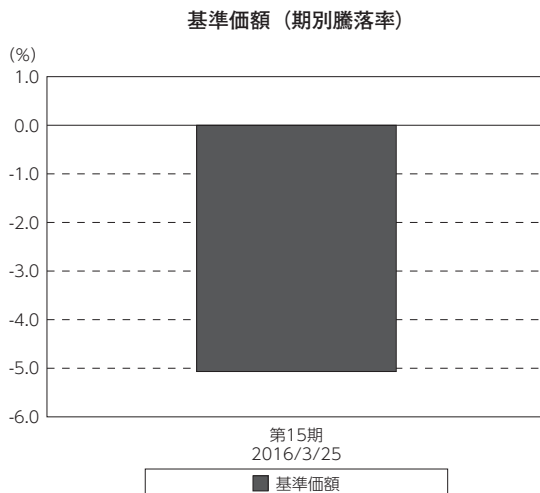
マザーファンド	運用アドバイザー	運用方針
日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	ファンダメンタルズ分析をベースに資産の均衡価値と市場価格との乖離を捉えることにより、超過収益の獲得を図ることをめざします。
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	スパークス・アセット・マネジメント株式会社	経済構造が変革する中で成長する新興企業や、既存の産業の中で自ら体質改善を図りながら成長を捉えようとする企業に選別投資することをめざします。
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	三井住友信託銀行株式会社	マーケット動向、マクロ動向、クレジット動向の丹念な調査・分析により、独自に市場テーマを追求し、投資行動に効果的に反映することで超過収益の獲得をめざします。
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	ジャンナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー	個別企業リサーチに基づく徹底したボトムアップのファンダメンタル・アプローチによる、株式の成長性に着目したポートフォリオの構築をめざします。
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	MFSインターナショナル(U.K.)リミテッド	産業・企業の徹底したファンダメンタルズ分析を行ない、継続的に高い収益成長が期待できるクオリティの高い企業を発掘し、相対的に割安な株価水準で組入れを図ることをめざします。
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)リミテッド	投資対象市場や投資対象企業について実施される徹底した調査・分析によって、本来の投資価値に比べて株価水準が割安な銘柄を見極め、またマクロ分析に基づく国別配分を組合せ、リスクコントロールに配慮しながらポートフォリオを構築することをめざします。
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー	「専門性を持ったリサーチ」、「分散されたアルファ源泉における多様な戦略」、「統合されたリスク管理」を通じて、超過収益の獲得をめざします。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年3月26日～2016年3月25日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

**分配金**

(2015年3月26日～2016年3月25日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第15期
	2015年3月26日～ 2016年3月25日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.613%
当期の収益	41
当期の収益以外	58
翌期繰越分配対象額	8,350

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****(当ファンド)**

引き続き、マザーファンド受益証券を通じて分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。また、市況見通しなどに応じて資産配分比率の調整を行なうことによって、収益の拡大を図ります。

**(各マザーファンド)**

各マザーファンドにおいては、それぞれの運用アドバイザーが運用方針に沿って、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## お知らせ

2015年3月26日から2016年3月25日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

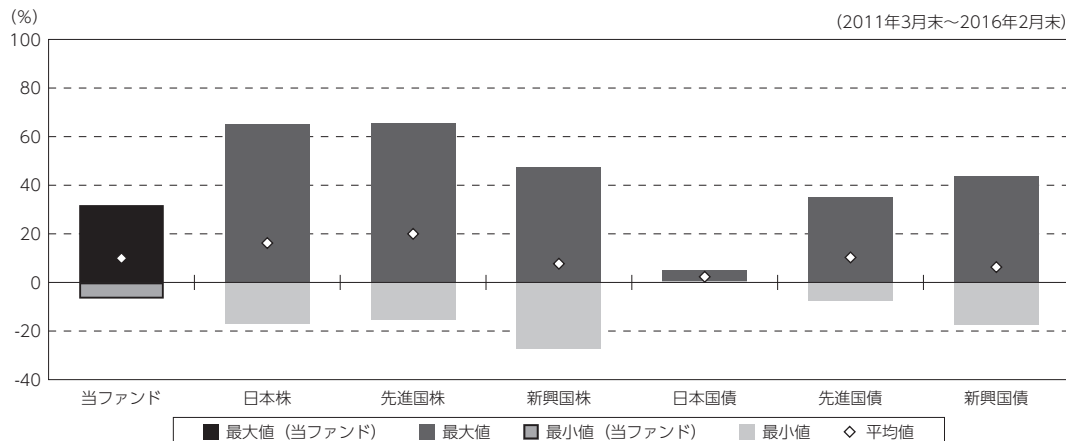
当ファンドについて、前回の基本資産配分の見直しから既に4年近く経過していることに鑑み、グローバルなマクロ経済環境の分析をもとに、最新の市況データを用いて新たな基本資産配分を策定したため、2015年10月14日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド15%、日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド7%、日本債券グローバル・ラップマザーファンド40%、北米株式グローバル・ラップマザーファンド15%、欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド10%、アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド3%、海外債券グローバル・ラップマザーファンド10%。(付表)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2001年10月17日から原則無期限です。	
運用方針	主として投資信託の受益証券に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	年金積立 グローバル・ラップ・バランス (成長型)	投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
	日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	日本債券グローバル・ラップマザーファンド	わが国の公社債および短期金融資産を主要投資対象とします。
	北米株式グローバル・ラップマザーファンド	米国およびカナダの金融商品取引所上場株式およびNASDAQ市場で取引されている株式を主要投資対象とします。
	欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	欧州主要先進国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を主要投資対象とします。
	アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	アジア・環太平洋主要先進国の株式を主要投資対象とします。
	海外債券グローバル・ラップマザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	主として、マザーファンドを通じて世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざします。各マザーファンドへの投資比率は、基本資産配分を基準に、中期的な市況見通しに応じて機動的に変更します。日興グローバルラップ株式会社(日興GW)による運用状況のモニタリングのもと、運用アドバイザーの決定は、日興GWに加えて日興アセットマネジメント アメリカズ・インクからの情報提供や助言をもとに、日興アセットマネジメントが行ないます。また、資産配分は、日興GWの助言をもとに日興アセットマネジメントが行ないます。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	31.8	65.0	65.7	47.4	5.1	34.9	43.7
最小値	△ 6.6	△ 17.0	△ 15.6	△ 27.4	0.4	△ 7.5	△ 17.4
平均値	9.9	16.2	20.0	7.7	2.3	10.3	6.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年3月から2016年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA- ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2016年3月25日現在)

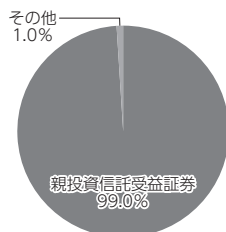
#### ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第15期末
	%
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	40.3
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	15.3
日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	14.1
その他	29.3
組入銘柄数	7銘柄

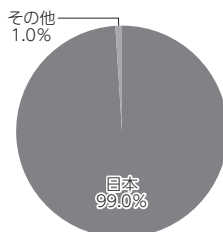
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

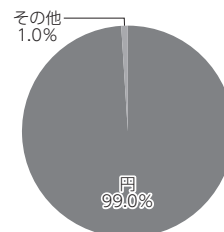
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項 目	第15期末	
	2016年3月25日	
純 資 産 総 額	2,131,897,202円	
受 益 権 総 口 数	1,314,531,066口	
1万口当たり基準価額	16,218円	

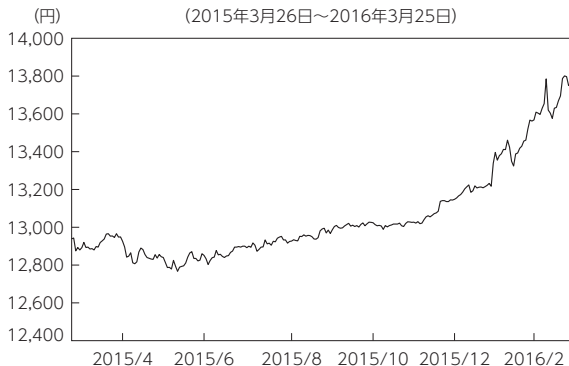
(注) 期中における追加設定元本額は165,030,360円、同解約元本額は95,587,128円です。

## 組入上位ファンドの概要

### 日本債券グローバル・ラップマザーファンド

#### 【基準価額の推移】

(2015年3月26日～2016年3月25日)



#### 【1万口当たりの費用明細】

(2015年3月26日～2016年3月25日)

該当事項はございません。

#### 【組入上位10銘柄】

(2016年3月25日現在)

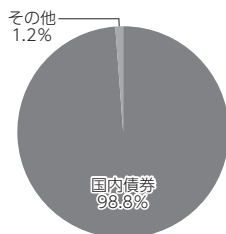
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	第341回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	7.5
2	第340回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	6.3
3	第127回利付国債(5年)	国債証券	円	日本	5.1
4	第362回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	4.8
5	第126回利付国債(5年)	国債証券	円	日本	4.2
6	第325回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	3.0
7	第154回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.2
8	第8回利付国債(40年)	国債証券	円	日本	2.0
9	第140回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.0
10	第152回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	1.8
	組入銘柄数		130銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

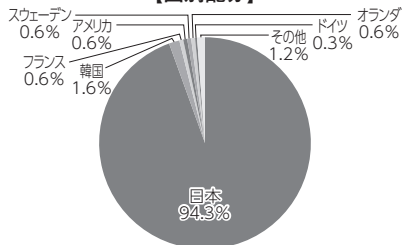
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

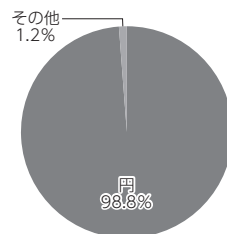
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

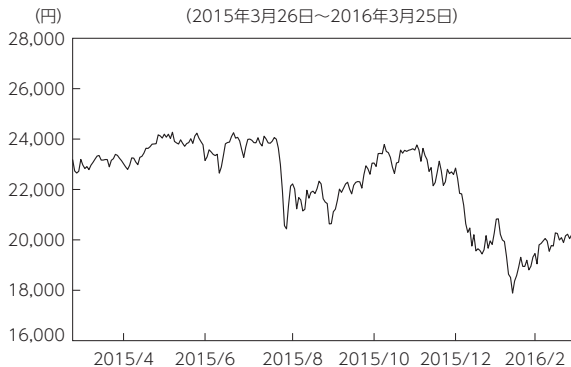
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

北米株式グローバル・ラップマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年3月26日～2016年3月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 ) (リミテッドパートナー(出資金))	13 (12) (0) (1)	0.059 (0.054) (0.002) (0.003)
(b) 有価証券取引税 (株 式 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 ) (リミテッドパートナー(出資金))	0 (0) (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000) (0.000)
(c) その他費用 ( 保 管 費 用 )	10 (10)	0.043 (0.043)
合 計	23	0.103

期中の平均基準価額は、22,465円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2016年3月25日現在)

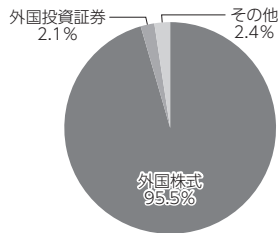
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ALPHABET INC-CL C	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.4%
2	CHEVRON CORP	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	2.5%
3	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	2.1%
4	FACEBOOK INC-A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	1.9%
5	NRG ENERGY INC	公益事業	アメリカドル	アメリカ	1.8%
6	BAKER HUGHES INC	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	1.6%
7	AMGEN INC	医薬品・バイオテクノロジー/ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	1.6%
8	ANADARKO PETROLEUM CORP	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	1.6%
9	LOWE'S COS INC	小売	アメリカドル	アメリカ	1.5%
10	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	医薬品・バイオテクノロジー/ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	1.5%
組入銘柄数			115銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

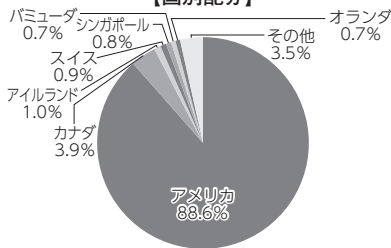
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

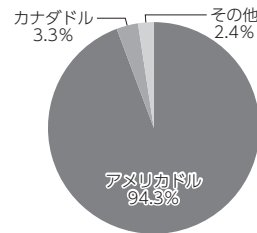
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

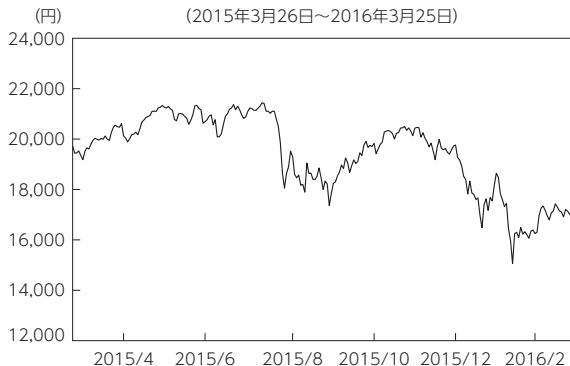
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年3月26日～2016年3月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	8 (8)	0.043 (0.043)
合 計	8	0.043
期中の平均基準価額は、19,493円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2016年3月25日現在)

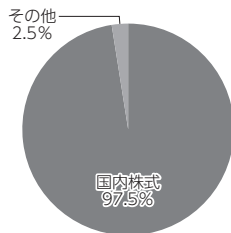
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
					%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	5.9
2	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	3.8
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	3.7
4	キーエンス	電気機器	円	日本	2.6
5	本田技研工業	輸送用機器	円	日本	2.6
6	日本たばこ産業	食料品	円	日本	2.6
7	日本電産	電気機器	円	日本	2.3
8	ソニー	電気機器	円	日本	2.1
9	協和発酵キリン	医薬品	円	日本	2.1
10	大塚ホールディングス	医薬品	円	日本	1.9
	組入銘柄数		85銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

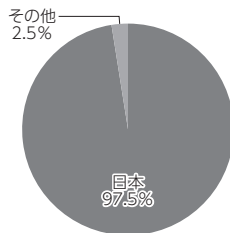
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

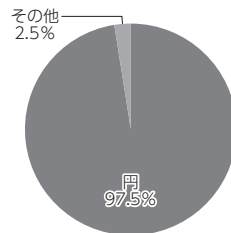
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数 (TOPIX、配当込)

当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

### ○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA- ボンド・パフォーマンス・インデックス 国債

当指数は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

### ○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

### ○JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。